

平成21年度 事業報告

今日私たちを取り巻く環境は日々変化し、少子高齢化の進行、家族形態の多様化、都市化の進行、さらに市民意識の多様化などにより、家庭や地域で支え合う機能が低下している。さらに昨今の経済状況の悪化もあいまって、家族や公的制度だけでは対応できない様々な問題が発生しており、これらの問題に対し、地域全体で取り組むことが求められている。

本会では、地域福祉活動の中核となる校区社会福祉協議会の支援に重点を置き、ふれあいネットワーク活動やふれあいサロン活動を展開するとともに、日常生活自立支援事業等の個人支援にも積極的に取り組んだ。また、経済状況の悪化に伴い急増した生活福祉資金等の貸付相談に対応した。

平成21年度は、以下の方針をもとに各種事業を実施した。

【重点項目】

- 1 校区社会福祉協議会を中心とした地域福祉活動の推進
- 2 ボランティア活動の推進
- 3 区社会福祉協議会事業の充実・強化
- 4 市民福祉プラザの利用推進

【主な事業】

- 1 住民主体の在宅福祉サービスの推進
- 2 ボランティア活動の推進
- 3 地域福祉推進体制の充実・強化
- 4 福祉啓発活動の充実
- 5 介護サービス評価事業の実施
- 6 心配ごと相談事業の実施
- 7 奉仕銀行（寄付）の運営
- 8 ファミリー・サポート・センター事業の実施
- 9 日常生活自立支援事業の実施
- 10 高齢者賃貸住宅入居支援事業の実施
- 11 貸付事業の実施
- 12 市民福祉プラザ事業の推進
- 13 福祉人材の育成
- 14 福岡市民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済制度の運営
- 15 各種福祉事業
- 16 福祉サービス苦情解決
- 17 財源の確保
- 18 会務の運営

【重点項目】

1 校区社会福祉協議会を中心とした地域福祉活動の推進

(1) ふれあいネットワーク事業

一人暮らしの高齢者など、援助を必要とする人々が地域で安心した生活ができるよう、地域住民や関係機関が連携して、日常的な見守りや軽易な生活支援等を行うネットワークを広げる活動に対し、区社会福祉協議会とともに支援を行った。

なお、福岡市地域保健福祉振興基金を財源とし、活動費の助成を行った。

〔助成額〕 16,768,482円

〔助成状況〕

(平成22年3月末現在)

区	助成校区数	実施自治会数	対象者数	ボランティア数
東	25	327	4,826	1,876
博多	21	303	1,972	1,128
中央	13	259	1,236	888
南	25	301	3,172	1,582
城南	11	150	2,016	986
早良	18	180	3,026	1,151
西	16	120	3,894	1,236
合計	129	1,640	20,142	8,847

〔主な活動内容〕

支援内容	取り組んだ校区	
声かけ・安否確認	129校区	100%
話し相手	121校区	94%
福祉サービス紹介	89校区	69%
ごみ出し	83校区	64%
買い物	36校区	28%
外出介助	34校区	26%

〔ネットワークの効果が表れた事例〕

問題の早期発見や未然防止につながった。

- ・ 訪問時に玄関口で倒れていた高齢者を発見し、救急搬送して一命をとりとめることができた。
- ・ 高齢者宅を訪問したら高価な布団を購入させられており、消費者センターにつないで解約することができた。

福祉サービスにつなぐことができた。

- ・ 定期的な声かけや話し相手になることにより、高齢者がふれあいサロンへ参加するようになった。
- ・ 転倒、骨折した高齢者の要請を受け、地域包括支援センターにつなぎ、転倒防止用手すりの設置や介護認定の手続きを行った。

安心して生活できるよう支援した。

- ・ 病院へ行く高齢者に帰宅するまで付き添った。
- ・ 高齢者世帯の住宅火災報知機の取り付けを行った。

(2) ふれあいサロン事業

一人暮らしや身体機能の低下等により、家に閉じこもりがちな高齢者等の孤独感の解消や介護の予防等を目的として、地域のボランティアが公民館や集会所などで、レクリエーションを行い、仲間づくりや交流・ふれあいを広げる活動に対し、育成・支援を行った。

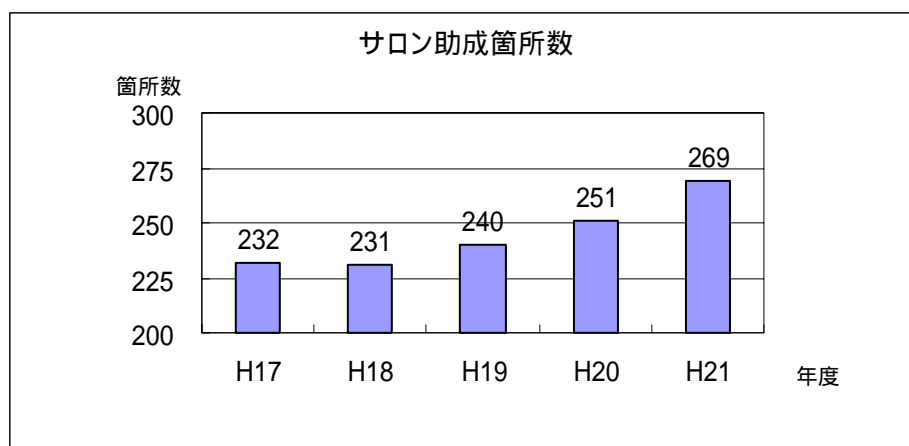
なお、福岡市地域保健福祉振興基金を財源とし、活動費の助成を行った。

〔助成額〕 15,436,331円

〔助成状況〕 (平成22年3月末現在)

区	助成校区数	箇所数	のべ利用者数	のべボランティア数
東	24	56	19,145	10,579
博多	19	32	13,061	4,242
中央	14	25	8,062	3,892
南	22	32	11,057	4,941
城南	11	36	7,762	4,484
早良	21	44	13,213	9,014
西	21	44	12,370	5,883
合計	132	269	84,670	43,035

〔助成箇所数の推移〕



2 ボランティア活動の推進

災害支援活動

平成21年4月に「災害ボランティアセンター設置」の協定書を福岡市役所と締結した。これに伴い、災害時の市民による支援活動をより充実するために、「災害ボランティア講座」を3回シリーズで実施した。

また、現在災害支援活動を行っているNPO、地域、大学などの関係団体間の「支援ネットワーク」づくりの「共働・防災フォーラム」に参画し、災害ボランティアセンターへの協力を要請し、了承を得た。

さらに、災害ボランティアセンターのスタッフを養成するために「仮設住宅のサポートセンター運営コーディネーター養成講座」を実施した。

日時	テーマ	講師	参加者数
6月27日	シリーズ・災害ボランティア講座 ～初心者なるほど編～	福岡防災研究会 宮崎 雄輔氏	13
8月29日	シリーズ・災害ボランティア講座 ～サバイバル編～	被災地NGO協働セツ - 代表 村井 雅清氏	39
3月27日	シリーズ・災害ボランティア講座 ～完結編～	福岡防災研究会 宮崎 雄輔氏	8

3 区社会福祉協議会事業の充実・強化

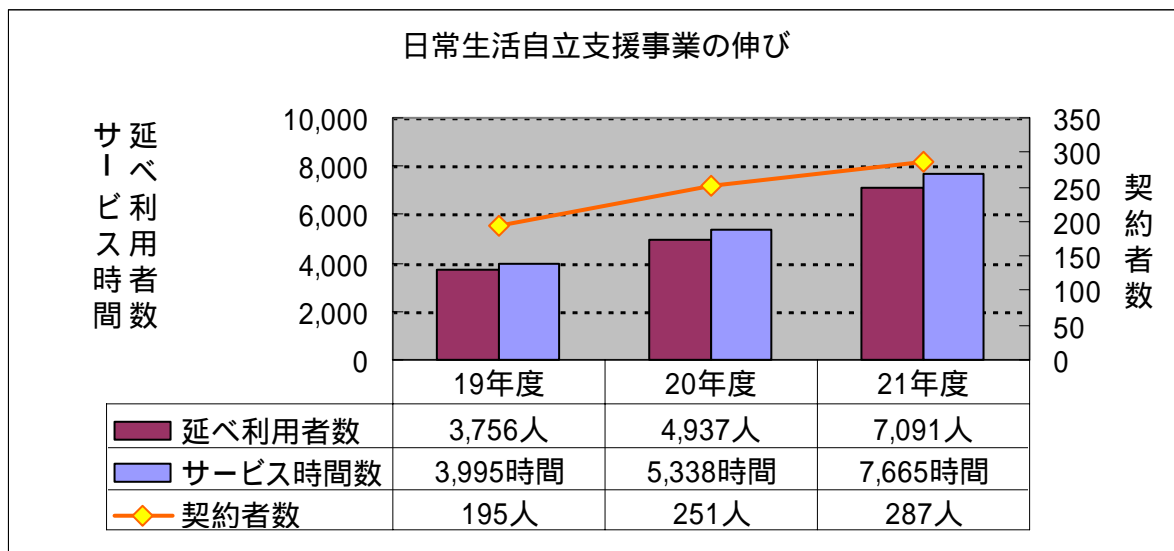
日常生活自立支援事業の実施

認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人の権利を擁護することを目的として、地域において自立した生活ができるように、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの生活支援を行った。なお、相談状況等は、次のとおり。

- (1) 相談件数 642件
- (2) 調査件数 181件
- (3) 契約件数 106件（前年度からの相談も含む）
- (4) 総契約件数（平成12年1月～平成21年度末） 583件（解約累計296件）
- (5) 平成22年3月末現在契約件数 287件

〔利用者内訳〕

対象者	件数
認知症高齢者	196
知的障がい者	34
精神障がい者	57
合計	287



4 市民福祉プラザの利用促進

指定管理の新たな1年目として、研修事業や啓発事業等で新たな企画を実施したり、全国ボランティアコーディネーター研修集会2010（後掲：P10参照）の誘致開催等を通じて、福祉啓発と市民福祉プラザの利用促進を図った。

また、利用者の声等を聴いて施設設備の充実を図り、利便性の向上を図った。

団塊世代ジャンプ教室の開催

福祉映画の上映会 「おくりびと」「1リットルの涙」

全国ボランティアコーディネーター研究集会2010の開催

設備の充実

- ・音楽室に打楽器を追加
- ・保育実習室の楽器、絵本の追加
- ・介護実習室に車いすを設置
- ・貸室にDVDプレーヤーの設置
- ・貸出用プロジェクター、大型スクリーンの追加 ほか

【主な事業】

1 住民主体の在宅福祉サービスの推進

地域における支えあいの仕組みづくりを進めていくために、ふれあいネットワークや、ふれあいサロン、ふれあいランチ、ふれあいデイサービス、校区広報紙発行等の地域住民による自主的な福祉活動を推進した。

(1) ふれあいネットワーク事業（前掲）

(2) ふれあいサロン事業（前掲）

(3) ふれあいランチ事業

食事の準備が困難な高齢者、障がい者等へ食事を届け、利用者の健康増進を図るとともに、安否確認・各種相談等を行い、地域とのふれあいを深める活動に対し、支援を行った。

なお、福岡市地域保健福祉振興基金を財源とし、活動費の助成を行った。

〔助成額〕 1,519,899円

〔助成状況〕

（平成22年3月末現在）

区	助成校区数	校区名	利用者数	ボランティア数	のべ配食数
東	1	美和台	11	24	970
博多	1	那珂	9	9	653
南	2	東花畑、若久	49	47	3,805
早良	3	百道、原、野芥	28	46	2,157
合計		7校区	97	126	7,585

(4) ふれあいデイサービス事業

一人暮らしや身体機能の低下等により、家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、公民館や集会所等で地域のボランティアが定期的に介護予防、生きがいづくりを行い、社会参加の促進を図る活動に対し、支援を行った。

なお、活動費の助成を行った。

〔助成額〕 2,000,000円

〔助成状況〕

（平成22年3月末現在）

区	助成校区数	校区名	のべ利用者数	のべボランティア数
南	1	塩原	492	315
早良	2	有住、田村	1,042	1,186
西	1	壱岐南	988	844
合計		4校区	2,522	2,345

(5) 校区広報紙発行事業

校区社協が住民の福祉に対する理解と関心を高めることを目的に行う広報紙発行事業に対し、支援を行った。

なお、福岡市地域保健福祉振興基金を財源とし、活動費の助成を行った。

〔助成額〕 5,168,510円
〔助成状況〕 (平成22年3月末現在)

区	助成校区数
東	25
博多	14
中央	11
南	25
城南	10
早良	23
西	20
合計	128

2 ボランティア活動の推進

(1) 広報・啓発活動

市民の福祉意識の高揚とボランティア活動への参加を促進するために、市民が参加できる福祉イベントを実施するとともに、ボランティアについての広報紙、冊子を発行した。

ボランティアだよりの発行

社協だより「ふくしのまち福岡」(年2回発行)で、イベントや講座の案内をはじめ、各種ボランティア情報を提供した。

ボランティア情報紙の発行

ボランティア情報紙「風」を発行(偶数月・年6回・3,200部/回)し、個人登録者などに対し、様々なボランティア活動の紹介や情報の提供を行った。

メールニュースの発行

企業やNPO団体を対象に、メールマガジンを発行(奇数月・年6回)し、企業・団体で取り組むことができる社会貢献活動やボランティア活動の情報の提供を行った。配信している企業等の数は、76社。

ホームページの運営

ボランティア講座の案内、ボランティアグループの紹介、市・区ボランティアセンターの紹介などのボランティア情報を、ホームページをとおして提供した。アクセス数は、70,036件。

生徒用ボランティア活動冊子「わたしもあなたもボランティア」の作成・配布

配布先 福岡市内中学校の1年生生徒及びその担当教師

配布数 生徒用 15,000部

教師用 1,100部

ボランティア活動普及事業協力校の指定及び助成

小学校・中学校・高校の各1校を福祉教育推進校に指定し、活動費として各10万円を助成した。(大名小学校、吉塚中学校、福岡女学院高等学校)

また、「ボランティア活動普及事業協力校連絡会」を下記の通り実施した。

〔実施日〕 平成21年5月1日(金)

〔会場〕 市民福祉プラザ

〔参加者数〕 担当教員3人
 高校生介護体験等特別事業協力校の指定及び助成
 精華女子高等学校を平成21年度から3年間指定し、事業費として10万円を助成した。

「NHKクリスマスコンサート：朗読と音楽の夕べ」
 (主催：NHK福岡放送局、共催：福岡市ボランティア連絡協議会視覚障害者部門、福岡市社会福祉協議会)

視覚障がい者や聴覚障がい者にも楽しめる、朗読とコンサートを開催した。

〔実施日〕 平成22年1月23日(土)

〔会場〕 アクロス福岡イベントホール

〔参加者数〕 600人

「ボランティアまつり2010」

ボランティア活動の喜びを分かち合い、広く市民にボランティアの輪を広げることを目的とした啓発イベントを開催した。

〔実施日〕 平成22年3月6日(土)

〔会場〕 市民福祉プラザ

〔内容〕 「ボランティア鼎談」、「福祉映画」上映、チャリティ・ヘアカット、作業所バザー販売、共用品の展示、「障がい者フレンドホーム」作品展示、アロマトリートメント体験、バルーンアート、喫茶

〔参加者数〕 400人

(2) 相談・紹介

「ボランティア活動してみたい」「ボランティア活動について知りたい」という活動希望や、「ボランティアに応援してほしい」といった応援依頼など、ボランティアに関する相談を受け付け、活動に結び付けている。

登録した個人ボランティア及びボランティアグループは、次のとおり。

項目	登録数	
	個人ボランティア	ボランティアグループ
平成21年度新規	355人	3グループ
累計	2,011人	161グループ (5,083人)

ボランティア応援依頼は、次のとおり。

依頼件数	対応件数	延べ対応ボランティア数	マッチング率
1,107	879	3,726	80%

内 容	件数	内 容	件数
託 児	55	身 体 介 助	6
施設・団体への行事援助	113	訓 練	2
日常生活援助	121	遊 び 相 手	70
技術・学習指導	106	点 訳	86
家事援助	43	朗 読	26
話し相手	86	散 髪	13
外出付き添い	256	そ の 他	124
		合 計	1,107

(3) 調査・研究

福祉施設や小規模作業所のボランティアニーズ及び登録ボランティアグループの実態調査を実施し、下記の資料を作成してボランティア相談等で活用した。

[作成資料]

「福祉教育お役立ちBook」「ボランティア体験受け入れ先情報」「センター登録ボランティアグループ一覧」「バザー用品等募集情報」「芸能ボランティア情報」「施設ボランティア募集情報」

(4) 研修・育成・福祉教育

ボランティアの発掘・育成や活動への関心を高めるための各種講座・研修会を実施した。

講座等実施状況の詳細は、「別表1」(別添資料集P.1)のとおり。

(5) 援 助

登録ボランティアグループに結成時支援資金やボランティア活動保険料の一部を助成した。また、印刷室、ボランティアルーム、プリンティングルーム、録音室、パソコンルームなどの活動室や小・中学校における体験学習に利用する車いすやアイマスク、高齢者疑似体験セットなどを貸し出した。

その他、福岡市ボランティア連絡協議会が行う点訳・音訳活動への支援を行った。

		件数	備考
助成	グループ結成時支援資金	3	助成額 90,000円
	保険料一部補助	7,505	助成額 750,500円
貸出	パソコンルーム等活動室	3,887	延べ21,455人
	車いす	196	小中学校における 体験学習
	アイマスク	33	
	高齢者疑似体験	48	
	点字器	23	
	共用品、白杖	41	

(6) 「勤マルの日」の実施

誰でも気軽に参加できるボランティア活動として「拠点活動」と、企業などが独自に内容等を企画した「自主活動」をあわせて行う福岡独自のイベントを、NPO ふくおか及び福岡県経営者協会と共催し、「勤マルの日」を実施した。

〔実施日〕 平成21年11月14日(土)

〔会場〕 大濠公園、天神大名地区、九州がんセンター、油山自然観察の森、福岡市立こども病院、新宮町楯の松原、アイランドシティ、室見川、筑後川、芥屋海岸、芦屋町柏原海岸、警固公園 計12箇所。

〔参加者数〕 30社・団体 1,000人

「勤マル」＝「勤労者マルチライフ支援事業」の略で、勤労者の社会参加・ボランティア活動への参加を推進するための事業。

(7) 全国ボランティアコーディネーター研究集会2010

多様な分野のボランティアコーディネーターが全国から集い、24の分科会で研究・協議を行った。(九州では初開催)

〔実施日〕 平成22年3月6日(土)～7日(日)

〔会場〕 市民福祉プラザ

〔内容〕 「オープニング全体会」「分科会」「クロージング全体会」

〔参加者数〕 参加者198人、スタッフ約70人

(8) 関係団体との共働事業

あすみんフェア2010(あすみん)

NPO・ボランティア活動を始めようとしている市民に様々な活動分野を紹介するとともに、NPO・ボランティアグループのネットワークの広がりを図るため実施した。

〔実施日〕 平成22年2月20日(土)～21日(日)

〔会場〕 福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」

〔内容〕 「福祉・医療・高齢者」「国際」「地域」「環境・美化」「子ども・教育」「学生・NPO」「各種支援センター」の7分野別に相談コーナーを設置

〔参加者数〕 約200人

災害サポートセンター運営コーディネーター養成講座(特定非営利活動法人災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード)

災害支援のサポートセンター設置や運営を担う人材の育成を目的に実施した。

〔実施日〕 平成22年2月2日(火)

〔会場〕 市民福祉プラザ

〔内容〕 当団体スタッフによる講話とワークショップ

〔参加者数〕 35人

九州NPO事業推進交流会(特定非営利活動法人はかた夢松原の会)

NPOを支援する中間支援組織のあり方について研究協議を、講話とワークショップ形式で行った。

〔実施日〕 平成21年11月29日(日)

〔会場〕 西日本新聞社会議室

〔内容〕 講師/岡部一明氏(愛知東邦大学経営学部地域ビジネス学科教授)

〔参加者数〕 45人

3 地域福祉推進体制の充実・強化

市民の福祉ニーズに対応した地域福祉・在宅福祉活動を一層促進するため、その推進主体となる区社会福祉協議会並びに校区社会福祉協議会の充実・強化を図った。

(1) 区社会福祉協議会事業の充実

区社会福祉協議会が、校区社協の支援をはじめ各種研修会や福祉講座の開催等、独自性をもった事業が展開できるよう支援を行った。

(2) 校区社会福祉協議会の支援

区社会福祉協議会と共働し、校区の実情にあった福祉活動の展開ができるよう支援を行った。

また、住民同士が、お互いに支えあう思いやりのあるまちづくりを支援するため、事業費の助成を行った。

(3) 校区社協会長研修会の実施

社会福祉協議会や地域福祉活動に関する基本事項を習得し、リーダーとしての役割について理解を深めるために、新任校区社協会長を対象に、研修を行った。

〔実施日〕 平成21年7月30日(木)

〔参加者数〕 17人

(4) シニアアシスト城南(城南区元気高齢者支援事業)の実施

団塊の世代を中心とするシニア世代の技能や知識・経験を活用し、人材発掘やボランティア活動への斡旋・調整等を行い、地域課題の解決等の支援を行った。

(5) 住民福祉活動の支援

歳末たすけあい募金の配分を受け、校区社協や、子育てサロン・サークル、障がい児者支援団体、フリースクール等の活動に対し、事業費の助成を行った。

〔助成状況〕

助成対象	件数
校区社協	149
子育て支援団体	232
障がい児者支援団体	86
社会的課題支援団体	3
合計	470

(6) 福祉医療機構「地域活動助成」事業の推薦事務の実施

福祉医療機構が行う「地域活動助成」事業に関し、平成22年度助成団体の募集・推薦を行った。応募は10団体、うち4団体の推薦を行った結果、次のとおり助成が内定した。

《高齢者・障がい者福祉基金事業》 (1団体)

団体名	事業名
福岡悠友クラブ	予防介護従事者対象の物づくり研修事業

《障がい者スポーツ支援基金事業》 (1団体)

団体名	事業名
社会福祉法人 福岡市身体障害者福祉協会	肢体不自由児者海水浴応援事業

《子育て支援基金事業》

(2団体)

団 体 名	事 業 名
特定非営利活動法人 男女・子育て環境改善研究所	子どもの成長段階をつなぐお父さん交流 事業
特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡	地域の子育て支援絆づくりネットワーク 事業

(7) 市民生委員児童委員協議会の支援

地域福祉活動推進の一翼を担う民生委員児童委員との連携を深めるとともに、活動の充実を図るため活動費の助成を行った。

4 福祉啓発活動の充実

市民に社会福祉の情報を伝えるとともに、福祉活動への関心を高めるため、さまざまな機会を設け、啓発に努めた。

(1) 社協だより「ふくしのまち福岡」の発行

福祉にかかわる情報や社会福祉協議会の活動を広く市民に紹介し、福祉に対する意識を高めるため、広報紙を発行・配布した。

〔発行回数等〕 年2回発行(第100号・第101号) 各17,000部

〔配布先〕 校区社会福祉協議会や民生委員・児童委員など関係機関・団体ほか

(2) 福祉教育読本「ともに生きる」の配布

小学校・特別支援学校の5年生児童並びに校長、担当教諭、教育機関等に配布し、福祉教育の推進に努めた。配布冊数5,709冊。

(3) 福祉教育読本「ともに生きる」の読后感想文の募集

児童の福祉に対する理解と関心を育むきっかけづくりのため、読后感想文を募集し、優秀9作品を表彰した。

〔応募小学校数〕 15校

〔応募作品数〕 1,230作品

(4) ホームページの運営

本会事業を広く市民に周知するため、ホームページにより最新情報の発信に努めた。アクセス数は46,651件。

(5) 平成21年度「ときめきフェスタ福岡」への参加

ボランティアの協力を得て、障がいのある人とのふれあいを図るとともに、福祉体験コーナーを設け、車いす体験などを行い、市民への啓発を行った。

〔実施日〕 平成21年10月18日(日)

〔会場〕 福岡市役所ふれあい広場

〔内容〕 車いす体験、アイマスク体験ほか

〔参加者数〕 150人

(6) 障がい者作品展の開催

市民の福祉への理解を深めることを目的として、福祉施設や福祉団体の協力のもと、障がい者が作成した絵画や水墨画、写真などを市民福祉プラザ1階「喫茶室」及びエントランスホールに展示した。

〔展示期間〕 平成21年12月1日～12月27日

〔作品数〕 絵画など 43点

(7) 福祉映画上映会の実施

平成21年度第1回福岡市介護実習普及センター介護フェスタの催しのなかで、「おくりびと」の上映会を開催した。

〔実施日〕 平成21年9月26日(土)

〔会場〕 市民福祉プラザ1階ふくふくホール

〔参加者数〕 158人

(8) 各種大会及び研修会等の実施

「福岡市福祉のまちづくり推進大会」(福岡市・福岡市社会福祉協議会 主催)

〔実施日〕 平成21年11月6日(金)

〔会場〕 福岡市民会館

〔参加者数〕 1,800人

〔記念講演〕 講師:大谷 るみ子 氏

(社会福祉法人東翔会 グループホーム「ふぁみりえ」ホーム長)

テーマ:「いつだって心は生きている~大切なものを見つけよう~」

「第46回福岡市高齢者保健福祉大会」

(福岡市・福岡市老人クラブ連合会・福岡市社会福祉協議会 主催)

〔実施日〕 平成21年9月2日(水)

〔会場〕 福岡市民会館

〔参加者数〕 2,025人

「福岡市民生委員児童委員大会」

(福岡市・福岡市民生委員児童委員協議会・福岡市社会福祉協議会 主催)

〔実施日〕 平成21年5月19日(火)

〔会場〕 福岡サンパレス

「母と子の体育大会」(福岡市・福岡市母子福祉会・福岡市社会福祉協議会 主催)

〔実施日〕 平成21年5月10日(日)

〔会場〕 福岡市民体育館

〔参加者数〕 433人

「児童福祉施設球技大会」(福岡市・福岡市社会福祉協議会 主催)

〔実施日〕 平成21年6月21日(日)

〔会場〕 山王公園野球場、博多体育館

〔競技種目及び出場チーム〕 野 球 の 部 3チーム

バレーボールの部 3チーム

「障がい者週間(12月3日~9日)記念の集い」

市内の障がい者団体等が実施する「障がい者週間」の街頭啓発事業に参加した。また、福岡市が主催する「障がい者週間基調講演」に参加、協力するとともに、市民福祉プラザにて福祉映画上映会や障がい者作品展を開催した。

街頭パレード及び街頭啓発

〔実施日〕 平成21年12月3日(木)

〔会場〕 福岡市天神地区周辺

〔参加者数〕 320人

記念講演

〔実施日〕 平成21年12月3日(木)

- 〔会 場〕 市民福祉プラザ1階ふくふくホール
- 〔テ ー マ〕 「挑戦・今私にできること」
- 〔講 師〕 副島 正純氏（アテネパラリンピック メダリスト）
- 〔参加者数〕 255人
福祉映画「1リットルの涙」上映会
- 〔実施日〕 平成21年12月3日（木）
- 〔会 場〕 市民福祉プラザ1階ふくふくホール
- 〔参加者数〕 150人

5 介護サービス評価事業の実施

介護サービスの質の向上と利用者の介護サービス事業所選びを支援するため、介護サービス評価事業と地域密着型サービス外部評価事業（認知症高齢者グループホーム及び小規模多機能型居宅介護事業所）を実施した。また、介護サービス情報の公表事業の調査機関として、調査事業を実施した。

（1） 介護サービス評価事業

実施状況

（平成22年3月末現在）

申込件数	調査済件数	判定済件数	認証取得件数	認証取得率
43件	44件	49件	49件	100%

詳細は、「別表2」（別添資料集P.3）のとおり。

情報提供状況

ホームページによる情報提供（平成22年3月末現在）

- ・ 情報提供事業所数（平成22年3月末現在） 87件
- ・ アクセス数 13,818件

紙またはデータによる情報提供

区保健福祉センター、区社会福祉協議会、民生委員児童委員（地区会長・副会長・校区幹事）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）その他関係機関に対し、年3回（5月・9月・2月）「認証交付事業所一覧」を配付した。

介護サービス評価委員会開催

開催状況 12回（2班編成）

委員の構成 9人（学識経験者、介護サービス精通者、市民）

広報等

市社協広報紙等への記事掲載及び市民福祉プラザ1階ロビーへの認証交付事業所一覧の掲示等により、関係機関・市民への広報を実施した。

（2） 地域密着型サービス外部評価事業

実施状況

（平成22年3月末現在）

申込件数	調査済件数	評価確定件数	公開済件数
98件	98件	98件	98件

詳細は、「別表3」（別添資料集P.4）のとおり

(3) 介護サービス情報公表事業

実施状況

調査済件数
253件

6 心配ごと相談事業の実施

市民の日常生活上のさまざまな相談に応じ、適切な助言、援助を行い、市民の福祉増進を図るため、民生委員児童委員、福岡県弁護士会及び行政書士の協力を得て、「心配ごと相談所」を次のとおり実施した。

なお、平成19年度から福祉相談事業（高齢者に関する法律相談）を福岡市より受託し、「心配ごと相談所」において、次のとおり実施した。

(1) 開設状況

実施日時

心配ごと相談

一般相談 毎週月曜日 10時から16時まで

専門相談 毎週月曜日、金曜日 13時から16時まで

高齢者に関する法律相談

毎週水曜日 13時から16時まで

(相談日の1か月前から電話等による予約受付を平成19年度から開始)

場 所 市民福祉プラザ3階 相談室

相談員 民生委員児童委員 2人、弁護士1人、行政書士1人(1相談日につき)

開設日数

心配ごと相談(一般相談、専門相談) 94日

高齢者に関する法律相談 48日

相談状況

心配ごと相談(1日あたり4.7件)

(平成22年3月末現在)

種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	医療・保健	人権・法律	財産	事故	福祉	苦情	その他	
件数	27	17	49	98	116	12	51	197	14	18	8	60	667

うち高齢者に関する法律相談（1日あたり4.1件）

種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	医療・保健	人権・法律	財産	事故	福祉	苦情	その他	
件数	5	7	15	14	13	3	21	78	6	9	2	24	197

相談結果

	相談所解決	民生委員紹介	他機関紹介	その他	計
件数	551	3	93	20	667

うち高齢者に関する法律相談

	相談所解決	民生委員紹介	他機関紹介	その他	計
件数	175	0	20	2	197

7 奉仕銀行（寄付）の運営

本会に対する寄付金や物品を受け入れ、その受け入れた一般寄付金及び福岡市の補助金を財源に、法人格を有しない団体等が運営する福祉作業所等 1施設に総額 37万円を配分し、施設整備等を支援したほか、施設等への物品寄贈やイベント招待等の仲介等を実施し、福祉活動の振興及び財源の確保に努めた。

項目	件数	金額	備考
寄付金	42件	7,879,696円	
物品	1件	200,000円	マスク
仲介等	24件	-	プロ野球観戦招待(2041枚)、車いす5台等
合計	67件	8,079,696円	

8 ファミリー・サポート・センター事業の実施

子育てを応援して欲しい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)を組織化して、地域における育児の相互援助活動をコーディネートすることにより子育て支援を行った。

(1) 会員登録状況(平成22年3月末現在) (単位:人)

依頼会員	提供会員	両方会員	計
3,940	767	695	5,402

(2) 活動内容及び回数 (単位：回)

	活 動 内 容	回 数
1	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	4,109
2	留守家庭子ども会の迎え及び帰宅後の預かり	2,011
3	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	1,419
4	保護者等の買い物等外出の場合の援助	1,385
5	学童の放課後の預かり	953
6	その他 ・留守家庭子ども会からの帰宅後の預かり ・子どもの習い事等の場合の援助 ・保育所・幼稚園の迎え ・登校前の預かり又は送り ・学童の迎え 等	4,392
	合 計	14,269

(3) 講習会・交流会等の実施

依頼会員登録講習会(随時)、提供会員養成講習会(5回)、フォローアップ講座(2回)、会員交流会(延べ20回)実施した。

(4) 会員リーダー連絡会の実施

会員リーダーとの連絡調整のため、会員リーダー連絡会(2回)を実施した。詳細は、「別表4」(別添資料集P.5)のとおり。

9 日常生活自立支援事業の実施(前掲)

10 高齢者賃貸住宅入居支援事業の実施

身元引受人がないなどの理由により、民間賃貸住宅や都市再生機構(旧住宅・都市整備公団)への入居が困難な一人暮らし等の高齢者が円滑に賃貸住宅に入居できるよう、また安心して在宅生活を送れるよう定期的な見守りサービスや住宅退去時のサービス等に関する事業を実施した。なお、相談状況等は次のとおり。

(1) 相談状況

相談件数 96件

相談内容(重複あり) (平成22年3月末現在)

内 容	件 数
事業に関すること	60
住宅申込・斡旋	11
連 帯 保 証 人	12
家 賃 補 助	1
退去時サービスのみ	6
そ の 他	12
合 計	102

- | | | |
|-----|------------------------|-------------------------|
| (2) | 契約件数 | 18件 |
| (3) | 総契約件数(平成15年5月~平成21年度末) | 89件
(解約累計20件 終了累計4件) |
| (4) | 平成22年3月末現在契約数 | 65件 |

11 貸付事業の実施

低所得者、高齢者及び障がい者等及び民間保育施設等に対して、以下の貸付事業を実施した。

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施

平成21年度は、経済情勢の悪化に伴う離職者や困窮する低所得世帯の急増に対応するため、「生活福祉資金貸付事業」において、10月より貸付利率の低減や連帯保証人の要件緩和を行った。その結果、当該年度貸付件数は前年比5倍強、貸付金額についても前年比2倍強となり、離職者や低所得世帯に対するセーフティネットとしての一翼を担った。

貸付件数 1,104件、貸付額 630,762,393円

主に総合支援資金、教育支援資金の貸付を実施した。

なお、貸付・償還状況は、「別表5」(別添資料集P.7)のとおり

(2) 障がい者高齢者住宅整備資金貸付事業の実施

高齢者と同居する世帯や高齢者及び障がい者等のための住宅の増改築に必要な資金の貸付事業を実施した(平成21年度貸付実績なし)

なお、貸付・償還状況は、「別表5」(別添資料集P.7)のとおり

(3) 民間保育施設整備資金貸付事業の実施

民間が経営する保育施設の建物の修理、増改築及び備品等の整備に必要な資金の貸付事業を実施した(平成21年度貸付実績なし)

なお、貸付・償還状況は、「別表5」(別添資料集P.7)のとおり

(4) 生活保護世帯等一時貸付金事業の実施

生活保護世帯や低所得世帯の緊急時の出費等に対する貸付事業を実施した。

貸付件数 3,985件、貸付額 53,975,000円

うち「離職者緊急支援つなぎ資金」は貸付件数13件、貸付金額650,000円

なお、「離職者緊急支援つなぎ資金」は、「臨時特例つなぎ資金貸付制度」の創設に伴い、9月末で新規貸付を停止した。

貸付・償還状況は、「別表5」(別添資料集P.7)のとおり

(5) 臨時特例つなぎ資金貸付制度の創設

解雇や派遣労働者の雇止め等により、住居を喪失し、その後の生計維持が困難な離職者に対して、その離職者が住宅手当の申請等の公的給付や就職安定資金融資等の公的貸付を申請した場合に、その申請の決定が出るまでの間の生活費を貸し付ける制度として、10月より、新たに創設された。

貸付件数 132件、貸付額 13,180,000円

なお、貸付・償還状況は、「別表5」(別添資料集P.7)のとおり

12 市民福祉プラザ事業の推進

指定管理者として、「民間福祉活動の拠点機能」、「研修機能」、「情報提供・相談機能」及び「交流機能」を有する福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)の管理運営を行った。

(1) 市民福祉プラザの施設の管理運営

市民福祉プラザの各種施設を福祉関係団体や障がい者、高齢者等の市民が十分活用できるように、プラザの研修室や会議室等の利用申請受付・貸出を行うなど、諸施設の管理運営を行った。

また、サービス向上と利用者の満足度を高めるため、アンケート調査や利用団体との意見交換等を実施し、プラザの運営に反映させた。

施設全体の利用延人員は、324,717人。各施設の利用状況は、「別表6」（別添資料集P.8）のとおり。

(2) 福祉図書・情報室の運営及び情報提供事業の実施

福祉図書・情報室において、福祉関連の図書・資料等を収集するとともに、多様な福祉情報を整理し、市民や福祉関係者等に提供した。また、視覚障がい者への情報提供サービスとして対面朗読サービスを実施した。

さらに、「ふくふくプラザだより」「図書案内」の発行やホームページ等を通じ、市民へ福祉情報を提供した。

[蔵書数] (平成22年3月末現在)

図 書	ビデオ・DVD
27,320冊	1,094本

[利用者数等]

利用者数	貸出数		レファレンス数	対面朗読利用者数
	図書	ビデオ・DVD		
延べ 40,294人	13,883冊	705本	1,861件	延べ222人

[情報提供等]

種 別	回数等
「ふくふくプラザだより」	月刊・計12回(各4,500部) 点訳版12部、音訳版22本
「図書案内」	隔月刊・計6回(各4,500部)
ホームページ	アクセス 43,314件

1.3 福祉人材の育成

民間社会福祉施設従事者を対象に、福祉の現場に必要な知識や技術等の習得により職員の一層の資質向上を図り、社会福祉の増進に資することを目的に、社会福祉施設関係法人理事長・施設長研修、新任・中堅・指導的職員等の階層別研修、救急法研修、メンタルヘルス講座、福祉レクリエーション講座を実施した。

また、福祉関係団体職員(市民福祉プラザ入居団体職員等)の資質及び市民サービスの向上を目的に、人権研修、接遇研修を実施した。その他市民啓発事業の一環として福祉入門教室(手話教室、団塊世代ジャンプ教室)、小中学校等の総合学習を支援するために市民福祉プラザ施設見学の受入、資格取得養成として介護支援専門員実務研修受講試験受験対策講座を実施した。

〔実施状況〕

研修対象	研修種別	研修事業名	回数	日数	受講者数
社会福祉事業従事者	基本研修	法人理事長・施設長研修	1	1	92
		新任職員研修	1	2	42
		中堅職員研修	1	2	37
		指導的職員研修	1	2	24
		救急法研修	1	1	38
		メンタルヘルス講座	1	1	28
	専門研修	福祉レクリエーション講座	2	2	64
	基本研修	人権研修	1	1	33
	専門研修	接遇研修	2	2	58
一般市民	福祉啓発	福祉入門教室 手話教室	2	2	67
		福祉入門教室 団塊世代ジャンプ教室	1	1	13
	総合学習支援	市民福祉プラザ施設見学	16	16	774
	資格取得養成	介護支援専門員実務研修受講試験受験対策講座	1	4	129
合 計			31	37	1,399

1.4 福岡市民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済制度の運営

民間の社会福祉施設等の職員を対象に、加入職員のニーズにあわせた事業の企画・実施に務めた。事業の詳細については、「別表7」(別添資料集P.9)のとおり。

〔加入状況〕 (平成22年3月末現在)

加入契約者数	施設数	加入職員数
125	154	3,735

1.5 各種福祉事業

市民の多様なニーズに対応するため、次の各種の福祉事業を行った。

(1) 福祉バス運営事業の実施

老人クラブ、障がい児・者団体及び母子福祉団体の福祉活動を支援するための福祉バスの申し込み受付、バス会社への配車予約等を実施し、延べ37,848人の利用実績があった。団体の利用状況は次のとおり。

〔福祉バス利用状況〕

高齢者団体	心身障がい者団体	児童・母子福祉団体	その他	合計
700台	226台	13台	143台	1,082台

(2) 福祉用具リサイクル斡旋事業

不用となった福祉用具を「譲りたい人」と福祉用具が「必要な人」をコーディネートし、福祉用具のリサイクルを進めるとともに、福祉用具の普及と在宅介護の軽減を図った。また、提供状況からすぐに用具の斡旋ができない場合で、相談者が早急に用具を必要としている場合、福祉用具リサイクル業者情報を紹介し、相談者のニーズに

可能な限り応えられるよう努め、福祉用具リサイクル業者との連携も深めた。

〔登録件数〕

(平成22年3月末現在)

	車いす	電動ベッド	歩行支援用具	その他	計
提供希望者	32	18	5	11	66
譲受希望者	58	29	5	7	99
合 計					165

車いすには電動車いすを含む

〔処理状況〕

(平成22年3月末現在)

成 立	取り下げ	調 整 中
44	49	2

(3) 家族介護者のつどいの実施

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している人を対象に、日頃の悩みや体験についての意見交換や介護技術などの習得、介護疲れのリフレッシュを目的とした集いを次のとおり実施した。

〔実施状況〕

区	実施形態	実施日	会 場	介護者(人)
東	介護者研修・交流会	平成21年9月10日	馬出会館	13
	バスハイク	平成21年10月9日	レイクサイドホテル久山 (糟屋郡久山町)	9
博多	バスハイク	平成21年11月11日	天拝の郷 (筑紫野市)	5
中央 南	バスハイク (合同開催)	平成21年10月7日	レイクサイドホテル久山 (糟屋郡久山町)	5
				7
城南 早良	バスハイク (合同開催)	平成21年11月25日	脇田温泉「楠水閣」 (宮若市脇田)	8
				13
西	バスハイク	平成21年11月10日	天拝の郷 (筑紫野市)	10
合 計				70

(4) 歳末見舞金贈呈事業の実施

歳末たすけあい募金の配分を受け、福祉作業所利用者、交通遺児、里親委託児童に対し、歳末見舞金を贈呈した。

- ・ 福祉作業所利用者 924件
- ・ 交通遺児 92件
- ・ 里親委託児童 82件

(5) ホームレス自立支援事業の実施

福岡市ホームレス自立支援推進協議会に参画するとともに、冬期の寒さをしのぐための暖房用品(カイロ)をホームレス支援団体と協力のうえ、配布した。

(6) 福岡市社会福祉協議会顕彰の実施

社会福祉増進のため積極的な活動を続け、その功績が顕著な個人、団体の表彰を「福岡市福祉のまちづくり推進大会」で行った。

福岡市社会福祉協議会会長表彰 102人、29団体
福岡市社会福祉協議会会長感謝状 88人、40団体

(7) 老人の日関連行事

高齢者に対する敬愛の念を示すとともに、「老人の日」を記念して、百歳を迎える高齢者に祝状と記念品を、米寿を迎える高齢者に祝状を、福岡市とともに贈呈した。

〔贈呈者数〕

百歳	米寿	合計
226人	3,587人	3,813人

(8) 福祉医療機構資金借入金利子補助事業

社会福祉事業の振興を図るため、「資金借入金利子補助業務要綱」に基づき、社会福祉法人が施設の新設あるいは増改築等を行った際に「福祉医療機構」から借り入れた資金(103法人107施設分115件)の利子支払いに対して、97,832,534円の補助金を交付した。

(9) 福岡市戦災引揚死没者追悼式の実施

昭和20年6月19日の大空襲による戦災死没者及び海外からの引揚げの途中で死没された方々の冥福を祈るとともに、恒久平和の誓いを新たにすため、地域団体とともに追悼式を実施した。

〔開催期日〕 平成21年6月19日(金)

〔会場〕 福岡市戦災記念碑前(博多区冷泉公園内)

〔参加者数〕 遺族 53人 一般 204人 合計 257人

(10) 「第52回大都市社会福祉施設協議会(川崎市大会)」への参加

政令指定都市における種別ごとの社会福祉施設の代表者が一堂に会し、大都市の施設が抱える共通の課題等を研究・協議する会議に参加した。

〔本市参加者〕 施設関係者：14人
社協：1人

16 福祉サービス苦情解決

福祉サービス利用者の苦情や意見を幅広く汲み取り、サービス内容をより一層充実するため苦情解決に取り組んだ。

17 財源の確保

福岡市ボランティア活動振興基金の管理運営を行うとともに、ホームページのバナー広告の導入など新たな自主財源の確保に努めた。

(1) ボランティア活動振興基金の造成

ボランティア活動振興のために設置した基金に寄付等を積み立て、ボランティア活動のための財源の確保に努めた。

内 訳	件数	金 額
奉仕銀行ボランティア特定寄付金	2件	667,044円
福岡市ボランティア活動振興基金補助金		300,000円
合 計		967,044円

【平成21年度末基金額】 648,819,550円

(2) その他の財源の確保

内 訳	件数	金 額
会費（正会費・賛助会費）	24	160,000円
バナ - 広告料	5	150,000円
車いす等貸出料	40	64,000円
外部講師謝礼	9	155,344円
実習生受入謝礼	1	10,000円
合 計	79	539,344円

18 会務の運営

(1) 理事会の開催

実施日	出席者数	審 議 事 項 等
第155回 平成21年5月1日	14人	審議事項 評議員の委嘱について
第156回 平成21年5月25日	19人	審議事項 平成20年度事業報告 平成20年度一般会計決算 平成20年度収益事業特別会計決算 定款施行細則の一部改正案 事務局の組織及び事務分掌規程の一部改正案
第157回 平成21年7月16日	17人	審議事項 評議員の委嘱について
第158回 平成21年8月28日	19人	審議事項 定款の一部変更案 定款施行細則の一部改正案 評議員の委嘱について

実施日	出席者数	審議事項等
第159回 平成22年3月30日	19人	審議事項 平成21年度一般会計資金収支補正予算案 平成22年度事業計画案 平成22年度一般会計資金収支予算案 平成22年度収益事業特別会計資金収支予算案 定款施行細則の一部改正案 事務局の組織及び事務分掌規程の一部改正案 職員の給与に関する規則の一部改正案 経理規程の一部改正案

(2) 評議員会の開催

実施日	出席者数	審議事項等
第152回 平成21年5月1日	47人	審議事項 理事の選任について
第153回 平成21年5月25日	51人	審議事項 平成20年度事業報告 平成20年度一般会計決算 平成20年度収益事業特別会計決算
第154回 平成21年7月16日	58人	審議事項 理事の選任について
第155回 平成21年8月28日	58人	審議事項 理事の選任について 監事の選任について 会長の選任について 副会長の選任について 定款の一部変更案
第156回 平成22年3月30日	56人	審議事項 平成21年度一般会計資金収支補正予算案 平成22年度事業計画案 平成22年度一般会計資金収支予算案 平成22年度収益事業特別会計資金収支予算案

(3) 監査の実施

実施日	出席者数	監査事項等
平成21年5月15日	3人	業務執行の状況及び財産の状況を監査

【別表1】

〔ボランティアセンター講座等実施状況一覧〕

講座名	実施概況	受講者数
音訳（朗読）ボランティア養成講座	〔期間〕平成21年5月14日～8月6日 全13回 〔会場〕市民福祉プラザ 〔講師〕元NHKアナウンサー 佐々木 謙介氏	29
音訳（朗読）ボランティアフォローアップ研修会	〔期間〕平成21年12月12日、平成22年1月30日 全2回 〔会場〕市民福祉プラザ 〔講師〕元TNCアナウンサー 林 欣子氏 元NHKアナウンサー 佐々木 謙介氏	21
点訳ボランティア養成講座	〔期間〕平成21年5月12日～8月4日 全10回 〔会場〕市民福祉プラザ	41
視覚障がい者ガイドボランティア養成講座	〔期間〕平成21年8月21日～9月5日 全3回 〔会場〕市民福祉プラザほか 〔講師〕心身障がい者福祉センター 宮崎 涼二氏	17
シニア福祉ボランティア養成講座	〔期間〕平成22年1月15日～2月12日 全3回 〔会場〕市民福祉プラザほか 〔講師〕ボランティアセンター職員	10
ボランティアリーダー研修会	〔実施日〕平成21年6月3日 〔会場〕市民福祉プラザ 〔テーマ〕グループの悩みについて話し合おう！ 〔講師〕こどもNPOセンター事務局長 宮本 智子氏 おとなりネットワーク「えん」代表 田代 久美枝氏 福岡市ボランティア連絡協議会代表 川崎 寛子氏	17
福祉施設等ボランティアコーディネーター研修会	〔実施日〕平成22年3月12日 〔会場〕市民福祉プラザ 〔テーマ〕ボランティアコーディネーションとは 〔講師〕大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター 白井 恭子氏	21
災害ボランティア講座	〔実施日〕平成21年8月29日 〔会場〕市民福祉プラザ 〔テーマ〕シリーズ・災害ボランティア講座 〔講師〕被災地NGO協働センター代表 村井 雅清氏	39
ボランティア初心者研修会	〔実施日〕平成21年5月30日、9月12日、11月21日 平成22年1月30日、3月20日 〔会場〕市民福祉プラザ 〔講師〕ボランティアセンター職員	30

講座名	実施概況		受講者数
個人ボランティア ステップアップ研修会	第1回	〔実施日〕平成21年6月27日 〔会場〕市民福祉プラザ 〔テーマ〕シリーズ・災害ボランティア講座 〔講師〕福岡防災研究会 宮崎 雄輔氏	13
	第2回	〔実施日〕平成21年11月21日 〔会場〕市民福祉プラザ 〔テーマ〕シリーズ・災害ボランティア講座 〔講師〕福岡防災研究会 宮崎 雄輔氏	8
	第3回	〔実施日〕平成22年3月27日 〔会場〕市民福祉プラザ 〔テーマ〕遊びを楽しむ人になるため 〔講師〕ヒューマンコミュニケーション研究所 所長 添田 譲二氏	9
マジックボランティア養成 講座（新規）	〔期間〕平成21年12月2日～平成22年3月17日 全8回 〔会場〕市民福祉プラザ		36
対面朗読ボランティア養成 講座（新規）	〔実施日〕平成22年2月12日、26日、3月12日 全3回 〔会場〕市民福祉プラザ		13
出前ボランティア講座	〔件数〕30件 〔対象〕公民館、学校、企業、地域団体等		1,457
企業の社会貢献（CSR） セミナー	〔実施日〕平成21年9月18日 〔会場〕市民福祉プラザ 〔テーマ〕明るいCSRのすすめ 〔対象〕企業の社会貢献担当者など 〔講師〕大阪ボランティア協会事務局長 早瀬 昇氏		28
切手ボランティア交流会	〔実施日〕平成21年12月16日 〔対象〕市民福祉プラザ		12

【別表2】

〔介護サービス評価事業実施状況〕

(平成22年3月末現在)

サービスの種類	申込件数	調査済件数	判定済件数	認証取得件数	認証取得率
訪問介護	7 (87)	6 (85)	5 (84)	5 (78)	100.0% (92.9%)
訪問入浴介護	0 (3)	0 (3)	0 (3)	0 (3)	- (100.0%)
訪問看護	2 (46)	3 (46)	10 (46)	10 (46)	100.0% (100.0%)
訪問リハビリテーション	0 (6)	1 (6)	1 (6)	1 (6)	100.0% (100.0%)
通所介護	9 (81)	7 (77)	7 (77)	7 (77)	100.0% (100.0%)
通所リハビリテーション	6 (56)	6 (55)	7 (55)	7 (55)	100.0% (100.0%)
福祉用具貸与	0 (11)	0 (11)	0 (11)	0 (10)	- (90.9%)
短期入所生活介護	1 (25)	1 (25)	1 (25)	1 (25)	100.0% (100.0%)
短期入所療養介護	1 (6)	1 (6)	1 (6)	1 (6)	100.0% (100.0%)
認知症対応型共同生活介護	1 (11)	0 (10)	0 (10)	0 (10)	- (100.0%)
特定施設入所者生活介護	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	- (100.0%)
居宅介護支援	7 (127)	8 (125)	8 (125)	8 (119)	100.0% (95.2%)
介護老人福祉施設	6 (56)	7 (56)	6 (55)	6 (54)	100.0% (98.2%)
介護老人保健施設	2 (36)	3 (35)	2 (34)	2 (34)	100.0% (100.0%)
介護療養型医療施設	1 (14)	1 (14)	1 (14)	1 (14)	100.0% (100.0%)
認知症対応型通所介護	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	- (100.0%)
合計	43 (569)	44 (558)	49 (555)	49 (541)	100.0% (97.5%)

()内は、平成14年度からの累計件数、累計認証取得率

【別表3】

[地域密着型サービス外部評価事業実施状況]

(平成22年3月末現在)

サービス種別		申込件数	調査済件数	評価確定件数	公開済件数
認知症高齢者グループホーム	1～3ユニット	74	78	78	78
	4ユニット以上	0	0	0	0
小規模多機能型居宅介護事業所		24	20	20	20
合 計		98	98	98	98

【別表4】

(1) 講習会・交流会等の実施

依頼会員登録講習会

(単位：人)

実施日	場 所	内 容	受講者数
各支部(月～金曜日随時) 本部(第3土曜日)	各支部及び本部	ビデオ講習 事業概要説明 登録手続き	942
出張講習	東支部(6/2、11/13)	東区子どもプラザ	18
	博多支部(1/8)	三筑公民館	7

提供会員(両方会員)養成講習会

(単位：人)

回数	実施日・会場	内 容	延べ受講者数
第1回	5/8,12,13 市民福祉プラザ	「子ども達への理解と心の発達」 講師：篠原 忍氏(福岡女学院看護大学教授) 「子どもに起きやすい事故の予防と手当」 講師：馬場 晴久氏(九州大学病院救命救急センター-医師)	222
第2回	7/3,7,9 南市民センター	「子どもの生活とメディア」 講師：原 陽一郎氏(九州大谷短期大学准教授)	159
第3回	9/4,8,10 東市民センター	「子どもの身体の発育と病気」 講師：南部由美子氏(東区保健福祉センター所長) 鈴宮 寛子氏(中央区保健福祉センター副所長)	114
第4回	11/6,10,11 博多市民センター	石井 美栄氏(南区保健福祉センター所長) 「子どもの遊び」 講師：渡邊 由美子氏(馬出保育所所長)	127
第5回	1/15,19,20 早良市民センター	二宮 清子氏(姪浜保育所所長) 石井 克子氏(千代保育所副所長)	182

フォローアップ講座

【提供・両方会員対象】

(単位：人)

回数	実施日	内 容	受講者数
第1回	10月6日	講演会「食べることは生きること」 講師 高取保育園 園長 西 福江氏 実習講座 手作りおもちゃ「エコなびっくり箱」 支部別懇談会	50
第2回	2月26日	実習講座「『遊び』がわかれば『子ども』がわかる」 講師 ヒューマンコミュニケーション研究所 所長 添田 譲二氏 全体懇談会	43

会員交流会

(単位：人)

支部	実施日	内 容	参加者数
東	8月5日	おしゃべり広場	27
	10月28日	おしゃべり広場	21
	12月11日	おしゃべり広場	10

支部	実施日	内 容	参加者数
博多	9月4日	表情筋エクササイズ、おしゃべり広場	17
	12月3日	フラワーアレンジメント、情報交換	14
中央	7月7日	支部の現状報告、新聞遊び、意見交換	16
	9月16日	支部の現状報告、新聞遊び、意見交換	24
	1月28日	ゲーム、意見交換	15
南	6月15日	自己紹介ゲーム、おしゃべり広場	22
	9月8日	手遊びうた、読み聞かせ、新聞紙で遊ぼう他	29
	10月16日	手遊びうた、読み聞かせ、新聞紙で遊ぼう他	19
城南	6月22日	支部の現状報告、絵本と手遊び、おしゃべり広場	24
	11月6日	支部の現状報告、手遊び、エプロンシアター他	14
	2月2日	支部の現状報告、手遊び、エプロンシアター他	26
早良	6月29日	支部の現状報告、身近な物で作って遊ぼう、意見交換	26
	9月28日	身近な物で作って遊ぼう、支部の現状報告、意見交換	12
	11月26日	身近な物で作って遊ぼう、支部の現状報告、意見交換	14
	1月28日	身近な物で作って遊ぼう、支部の現状報告、意見交換	14
西	7月29日	ギターアンサンブルコンサート、情報交換	26
	10月29日	アロマスプレー作り、支部の現状報告、情報交換	38

活動未体験会員のための「あずかりっこ」事業

(単位：人)

支部	実施日・会場	内 容	参加者数
博多	8月20日 那珂公民館	利用したことのない依頼会員と援助活動をしたことのない提供(両方)会員がペアを組み、無償の援助活動を行った。	29
中央	12月7日 中央市民センター		18
南	2月5日 アミカス		17
早良	2月8日 早良市民センター		17
西	6月2日 西市民センター		21
	12月3日 西市民センター		23

アドバイザー研修

(単位：人)

回数	実施日	内 容	参加者数
第1回	9月14日	平成21年度ファミリー・サポート・センター全国交流会(大阪) 主催：財団法人 女性労働協会	9

会員リーダー連絡会

(単位：人)

回数	実施日	内 容	参加者数
第1回	4月27日	委嘱状の交付 活動内容及び事務説明・確認 支部別活動計画話し合い 等	31
第2回	10月15日	前期活動状況報告 等	15

【別表5】
 (資金貸付・償還状況)

(1) 生活福祉資金

資金種類		貸付		償還(元金)
		件数	金額(円)	金額(円)
福祉資金	生業費	7	7,063,000	5,222,708
福祉資金	生業以外	31	32,313,000	3,832,790
教育支援資金	支援費+支度費	228	248,764,367	104,407,704
	支援費のみ	44		
	支度費のみ	22		
緊急小口資金		160	15,302,000	3,801,427
離職者支援資金		14	6,760,000	33,214,802
総合支援資金		590	223,646,526	768,466
不動産担保型生活資金		3	52,013,500	0
要保護世帯向不動産担保型生活資金		5	44,900,000	0
計		1,104	630,762,393	151,247,897

平成21年10月1日以降、従来の更生資金、障がい者更生資金、療養資金、災害援護資金が福祉資金に統合。
 福祉資金は便宜上、生業費と生業以外に分けて表示。
 離職者支援資金は10月1日以降総合支援資金になったが、便宜上分けて表示。

(2) 障がい者高齢者住宅整備資金

件数・金額	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
	0	0	2,961,700

(3) 民間保育施設整備資金

件数・金額	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
	0	0	9,563,700

(4) 生活保護世帯等一時貸付金

種別	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
生活保護世帯分	3,968	53,220,000	52,613,500
支援給付分	0	0	0
低所得世帯分	4	105,000	238,000
離職者緊急支援つなぎ分	13	650,000	585,000
合計	3,985	53,975,000	53,436,500

(5) 臨時特例つなぎ資金

件数・金額	貸付		償還(元金)
	件数	金額(円)	金額(円)
	132	13,180,000	710,000

【別表6】

〔福岡市市民福祉プラザ 利用状況〕

区		分	利用状況	
貸 出 施 設	ふくふくホール	利用日数	287 日	
		利用者数	40,923 人	
	会議室（3室）	利用日数	978 日	
		利用者数	37,742 人	
	研修室（7室）	利用日数	2,179 日	
		利用者数	106,596 人	
	和室・実習室（7室）	利用日数	1,579 日	
		利用者数	43,140 人	
	交流ひろば	利用日数	244 日	
		利用者数	8,367 人	
	計	利用日数	5,267 日	
		利用者数	236,768 人	
	そ の 他 の 施 設	福祉用具展示場	利用者数	24,290 人
		視察・施設見学	団体数	63 団体
利用者数			1,945 人	
ボランティアルーム等		利用件数	3,885 件	
		利用者数	21,420 人	
福祉図書・情報室		開室日数	340 日	
		利用者数	40,294 人	
		登録者数	506 人	
		貸出冊・本数	14,303 冊	
		対面朗読	222 人	
計	利用者数	87,949 人		
利用者総数			324,717 人	
開館日数			346 日	
1日平均利用者数			938 人	

【別表 7】

〔民間社会福祉事業従事職員福利厚生共済制度事業実施状況〕

(1) 給付事業

内 容		決 算 額	
種 別	単価 (円)	件数	金 額 (円)
結婚祝金	30,000	116	3,480,000
出産祝金	30,000	105	3,150,000
入学祝金	30,000	133	3,990,000
義務教育終了祝金	30,000	71	2,130,000
死亡見舞金		68	2,344,000
本人	100,000	6	600,000
被扶養者	70,000	3	210,000
その他	26,000	59	1,534,000
傷病見舞金	40,000	12	480,000
災害見舞金		3	90,000
全焼 (壊)	150,000	0	0
半焼 (壊)	70,000	0	0
その他	30,000	3	90,000
特別結婚祝金	30,000	18	540,000
小 計		526	16,204,000
退会一時金	支給率で算出	743	88,452,390
合 計		1,269	104,656,390

(2) 貸付事業

内 容		決 算 額	
種 別	貸付限度額 (円)	件数	金 額 (円)
生活資金		16	2,720,000
5年未満	120,000	3	320,000
5年以上	150,000	4	600,000
10年以上	200,000	9	1,800,000
慶弔資金	250,000	2	500,000
医療資金	250,000	0	0
入学資金		4	1,750,000
高 校	250,000	1	250,000
大 学	500,000	3	1,500,000
罹災資金	500,000	0	0
合 計		22	4,970,000

(3) 長期加入職員記念品贈呈事業

区 分		決 算 額 (円)	
加入期間	記念品額 (円)	件数	金 額
5年	5,000	157	785,000
10年	10,000	72	720,000
15年	10,000	40	400,000
20年	15,000	37	555,000
25年	15,000	14	210,000
30年	20,000	78	1,560,000
35年	20,000	31	620,000
送 料			66,570
合 計		429	4,916,570

(4) 保養所事業

内 容		決 算 額 (円)	
区 分	補助額 (円)	件数	金 額
大 人	2,500	127	317,500
小 人	1,200	8	9,600
合 計		135	327,100

(5) 文化体育事業

内 容		決 算 額 (円)	
区 分	補助額 (円)等	件数	金 額
文化鑑賞引換券補助	3,000	2,987	8,958,400
映画鑑賞補助	費用の一部	6,907	2,170,890
観劇補助	費用の約1/3	260	1,204,000
プロ野球観戦補助	費用の約1/3	426	996,565
Jリーグ観戦補助	費用の約1/3	40	45,000
海浜プール利用補助	費用の一部	642	368,700
合 計		11,262	13,743,555